

農業集落排水事業経営評価（17年度）

1 17年度決算の概況

（1）歳入について

収入は予算現額22,562千円に対し、調定額22,480千円、収入済額22,438千円、収入未済額42千円で、収入率は99.81%となりました。

前年度に比べ、調定額269千円（1.18%）、収入済額284千円（1.25%）の減、収入未済額15千円（57.36%）の増となりました。

収入未済額の内訳は、農業集落排水処理施設使用料の現年度分使用料となっております。

（2）歳出について

支出は予算現額22,562千円に対し、支出済額22,199千円、不用額363千円で、執行率は98.39%となりました。

前年度に比べ、支出済額は398千円（1.76%）の減となりました。

【前年度決算との比較】

	17年度	16年度	増減額
使用料・手数料	1,817	1,891	-74
繰入金	11,696	11,750	-54
繰越金	125	581	-456
市債	8,800	8,500	300
合計	22,438	22,722	-284

	17年度	16年度	増減額
事業費	3,244	3,741	-497
公債費	18,955	18,856	99
合計	22,199	22,597	-398

純損益	239	125	114
-----	-----	-----	-----

2 経営評価

中期経営計画の経営評価の手法は、目標や実績を数値で測定し、目標の達成度が明瞭に分かりやすいベンチマーク（指標）による手法としました。

(1) 健全性に関する指標

農業集落排水事業の「経営の健全性に関する指標」の計画値の達成状況は次表のとおりです。

指標名	単位	望ましい方向	17年度			18年度計画
			計画	実績	達成状況	
純損益	千円	↑	0	239	○	0
収益的収支比率	%	↑	100.0	107.4	○	100.0
繰入金比率	%	↓	61.3	52.1	○	67.6

★17年度の分析評価

純損益は計画値は0円でしたが、239千円となりました。主な理由として事業費の支出の減少です。それに伴い、収益的収支比率も7.4ポイント上昇しました。

また、繰入金比率も、計画値より9.2ポイント減少しました。

(2) 効率性に関する指標

農業集落排水事業の「経営の効率性に関する指標」の計画値の達成状況は次表のとおりです。

指標名	単位	望ましい方向	17年度			18年度計画
			計画	実績	達成状況	
排水人口	人	↑	191	170		191
年間総排水量	m ³	↑	19,500	19,497		19,500
1日平均排水量	m ³	↑	53	53		53
有収水量	m ³	↑	11,200	10,886		11,200
有収水量1m ³ 当たり 物件費	千円	↓	0.9	0.9		0.9

★17年度の分析評価

排水人口は、計画値よりも21人減少しています。主な原因は流出人口の増加によるものです。また、年間総排水量は、ほぼ計画値通りでした。

有収水量は10,886m³となり、不明水が8,611m³と非常に多い状態です。有収水量1m³当たりの物件費については、約900円です。

(3) サービス内容に関する指標

農業集落排水事業のサービス内容に関する指標の実績値は次表のとおりです。

	具体的内容	単位	17年度 実績
普及率		%	0.5
水洗化率		%	90.4
水洗化貸付件数		件	0
水洗化貸付額	年間貸付額	千円	0
口座振替の割合		%	93.0

★17年度のサービス提供の取組み

普及に関しては、すでに終了しており、現在維持管理を主体として事業を継続しています。今後も生活環境の改善や、公共用水域の水質保全を確保するよう努めます。